

小学生が那智川流域の砂防堰堤の工事現場を見学しました

大規模土砂災害対策技術センター

大規模土砂災害対策技術センターが防災教育を支援している那智勝浦町立市野々小学校で土石流や砂防堰堤の働きなどについて学んだ高学年児童が、実際に完成した砂防堰堤や工事中の状況を見学しました。

当センターでは、今後もこのような現場を活用した防災教育を支援する取り組みについて積極的に進めて参ります。

主催

大規模土砂災害対策技術センター

日時

平成29年11月10日(金)13時～15時

参加者

那智勝浦町立市野々小学校5・6年生 13名

見学箇所

金山谷川、蛇ノ谷川、樋口川



金山谷川2号堰堤



砂防堰堤の種類、働きを説明。

樋口川1号・2号堰堤



重機が土砂を掘削する様子を見学。

蛇ノ谷川2号堰堤



擬石型枠を用いた修景について説明。



那智川流域において多く見られる自然石の石積みを、地域の原風景として修景対策を実施
※修景：地域の景観を損なわないように整備すること

参加した皆さんの声

- 砂防堰堤が地域の景観に合うように工夫されている事が分かって良かった。
- 砂防堰堤の袖がしっかりと固定されていることで土石流も止められることが良く分かった。
- 勉強した砂防堰堤を実際に近くで見れて良かった / ○別の溪流の砂防堰堤も見たい

【問い合わせ先】国土交通省 近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター
〒649-5302 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6
(和歌山県土砂災害啓発センター2F) TEL 0735-55-0820

